

## 第2章 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等

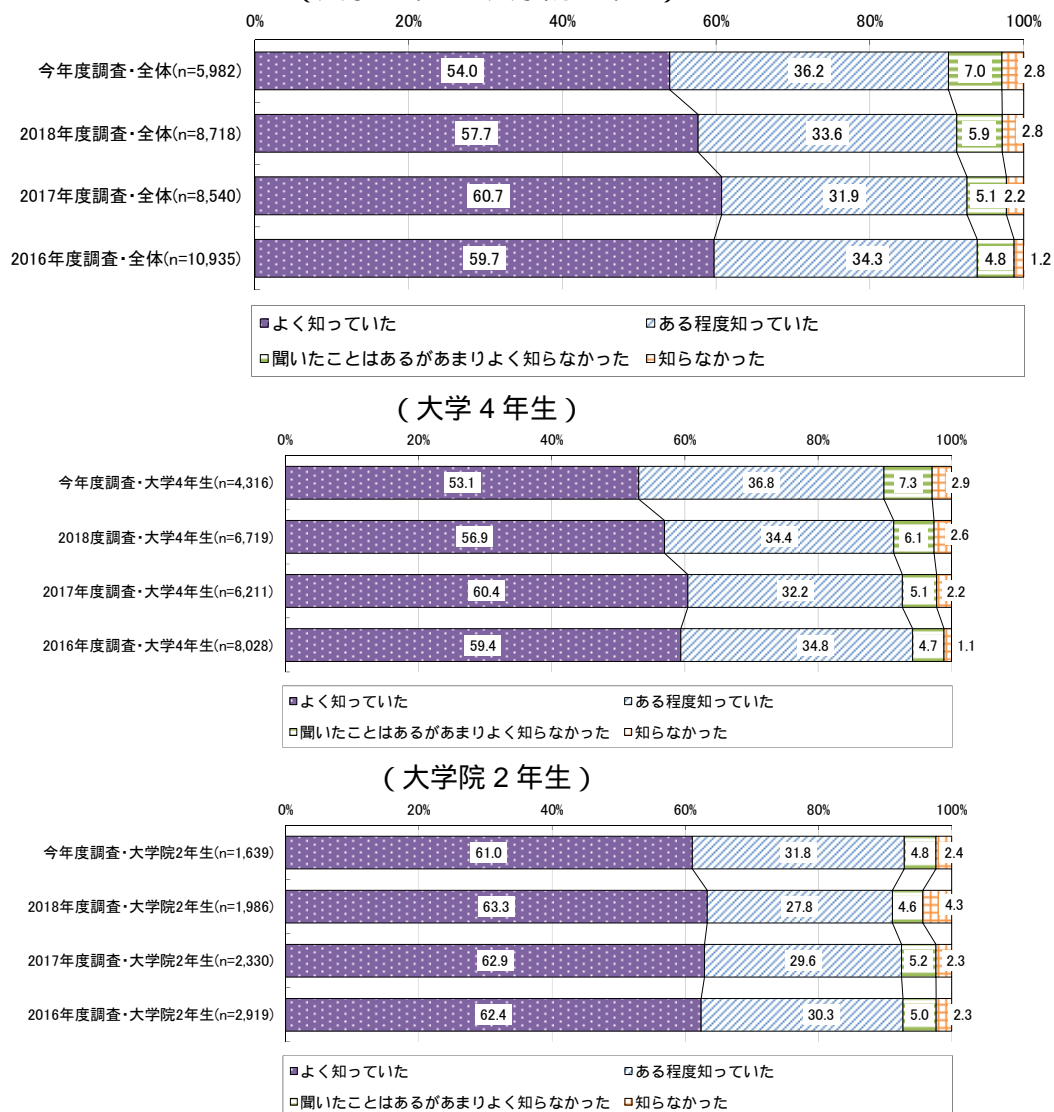
### (1) 就職活動時期に関する認知の状況

#### 就職活動時期に関する認知度

就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程（広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降）で行われることについて、「よく知っていた」との回答が約5割、「ある程度知っていた」との回答の合計が約9割となっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、「よく知っていた」との回答割合が若干低下している<sup>12</sup>。

図表 2-1-1 就職活動時期に関する認知度  
(大学4年生・大学院2年生)



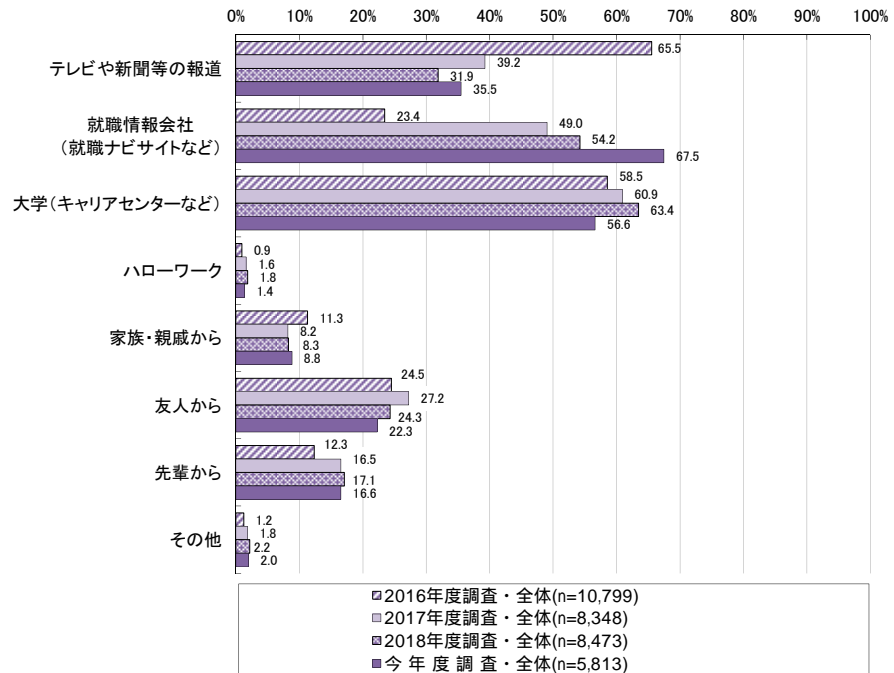
<sup>12</sup> いずれの年度の調査も、「就職活動を行った（終えた）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。なお、2016年度調査は就職活動時期変更について知っていたかをたずねた設問となっている。2015年度調査でも就職活動時期に関する認知度を把握するための設問はあるが、他の年度とは異なる聞き方となっていることから、ここでは比較の対象としなかった。

## 就職活動の時期に関する情報源

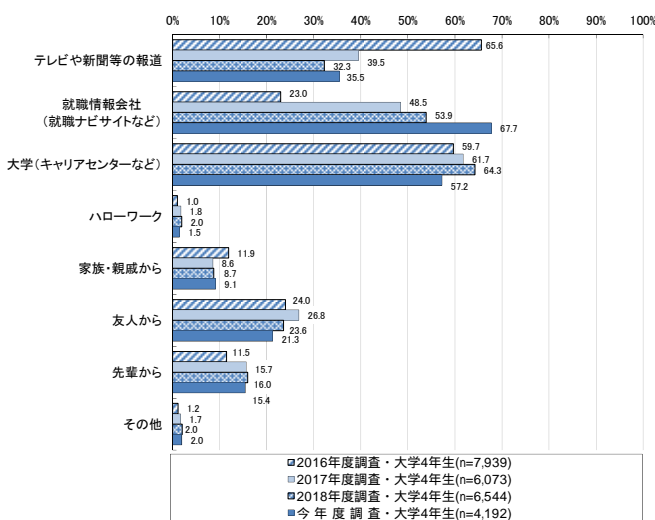
どのような情報源から就職・採用活動の時期に関する情報を得たかについて<sup>13</sup>、「就職情報会社（情報ナビサイトなど）」の割合が約7割と最も高く、次いで「大学（キャリアセンターなど）」の割合が高くなっている。

2016年度調査～2018年度調査と比較すると、「就職情報会社」の割合が上昇している<sup>14</sup>。

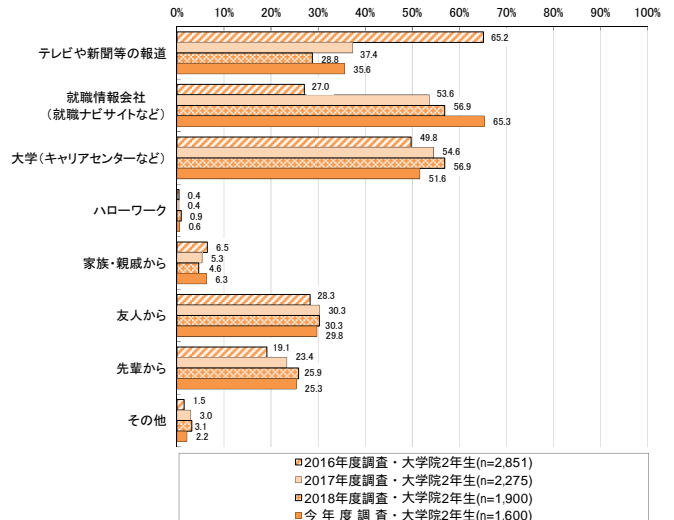
図表 2-1-2 就職活動時期に関する情報源（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



<sup>13</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象であり、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

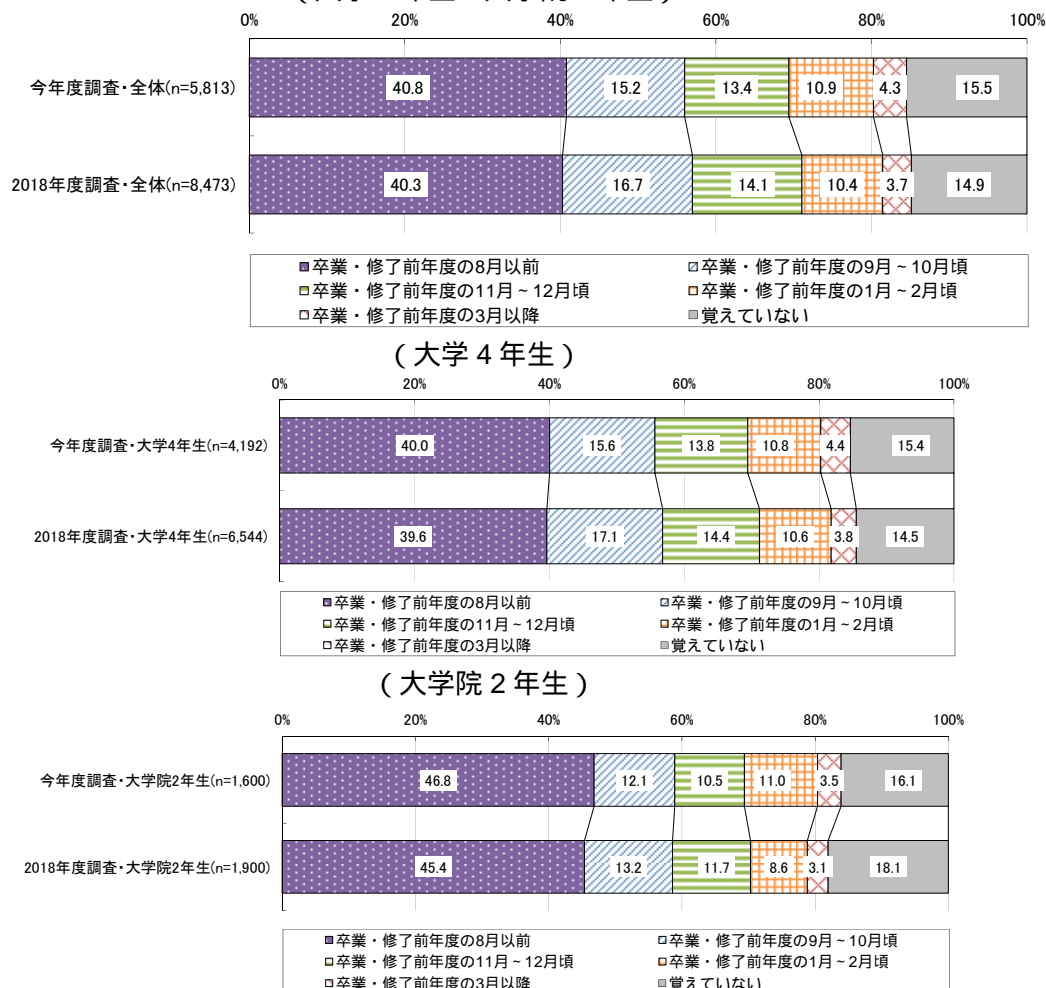
<sup>14</sup> 2016年度調査は就職活動時期変更に関する情報をどのような情報源から得たかをたずねた設問となっている。2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。なお、2017年度・2018年度は「就職情報会社」、2016年度は「求人情報会社」の文言で調査を行っている。

## 就職活動時期に関する情報を知った時期

いつ頃就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかについて<sup>15</sup>、「卒業・修了前年度の8月以前」との割合が最も高く、約4割となっている。

2018年度調査と比較すると、概ね同様の回答結果となっている<sup>16</sup>。

図表 2-1-3 就職活動時期に関する情報を知った時期  
(大学4年生・大学院2年生)



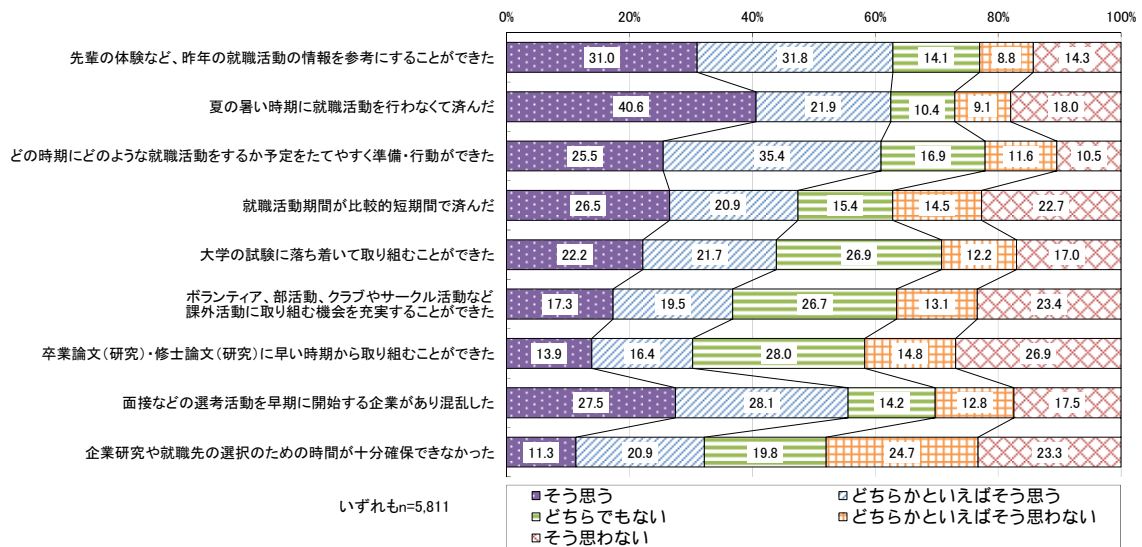
<sup>15</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

<sup>16</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。2017年度調査では同内容の設問はあるが、選択肢として設定している時期が異なっていることから、ここでは比較の対象としなかった。

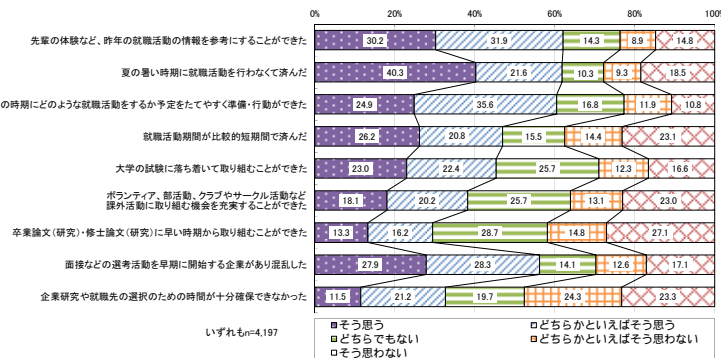
## (2) 就職活動時期に関する認識

就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期（広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降）に設定されたことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」や「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」という点で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が約6割と高かった一方で、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」についても同様に回答割合が高かった<sup>17</sup>。

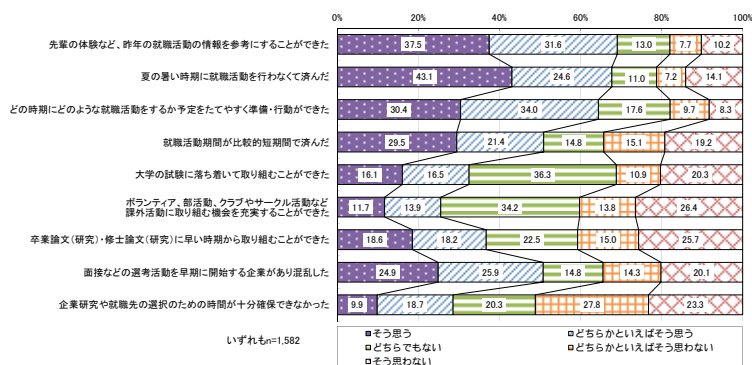
図表 2-2-1 就職活動時期に関する認識  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



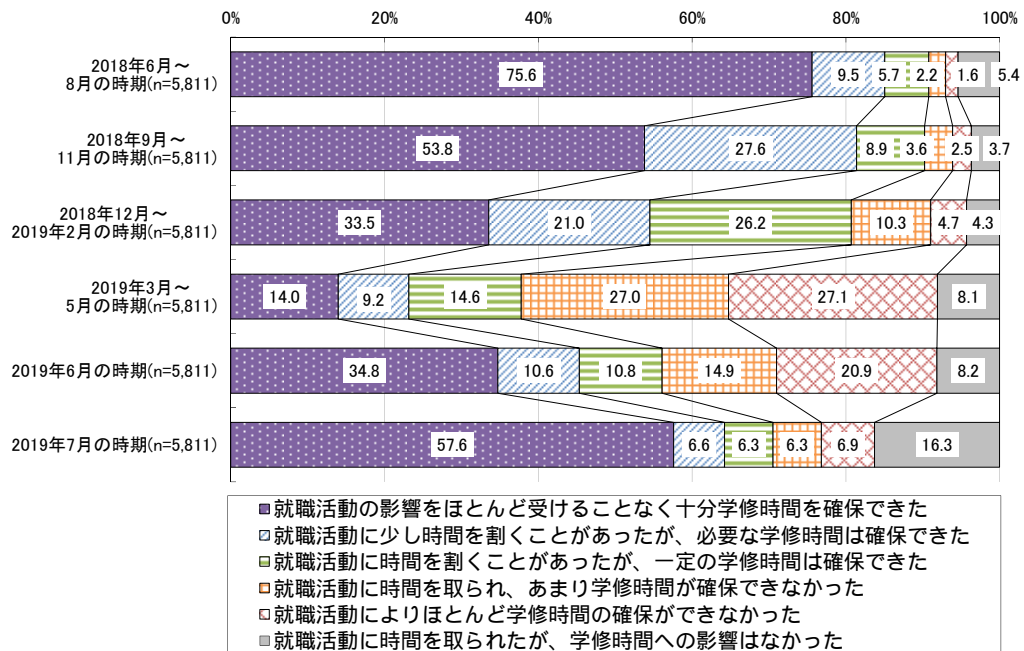
<sup>17</sup> 2017年度調査・2018年度調査でも同様の設問により調査をしており、同傾向の結果が得られている。

### (3) 就職活動と学修時間確保の状況

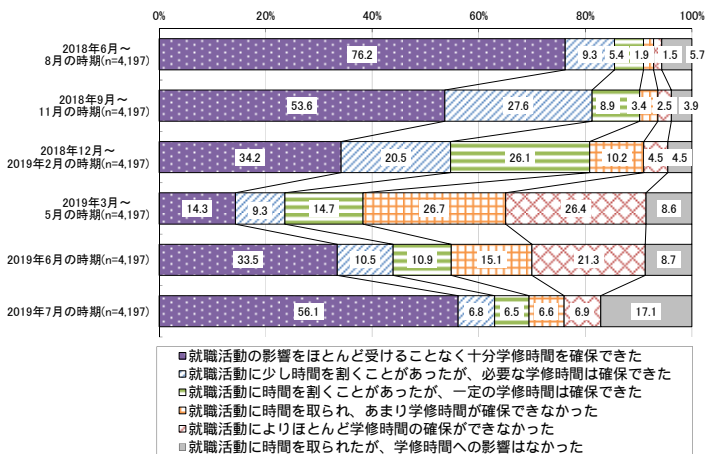
就職活動と学修時間確保の状況について、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、広報活動開始時期前の2月までは8割以上と高いが、広報活動開始時期後の3月～5月には4割以下まで低下、しかし、採用選考活動開始時期後の6月には約6割、7月には約7割まで上昇している。

採用選考活動開始時期が卒業・修了年度の8月とされていた2015年度調査と比較すると、卒業・修了年度の6月・7月に学修時間が確保できたとの回答割合が大幅に上昇している<sup>18</sup>。2016年度調査～2018年度調査と比較しても、卒業・修了前年度の3月～卒業・修了年度の6月については、学修時間が確保できたとの回答割合が若干上昇している。

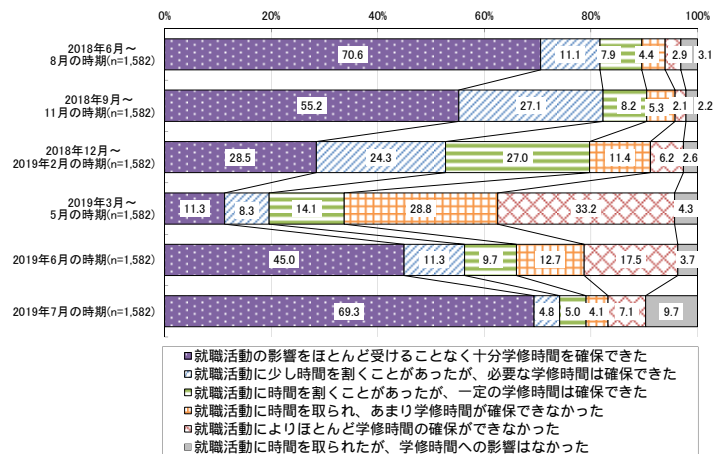
図表 2-3-1 就職活動と学修時間確保の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)

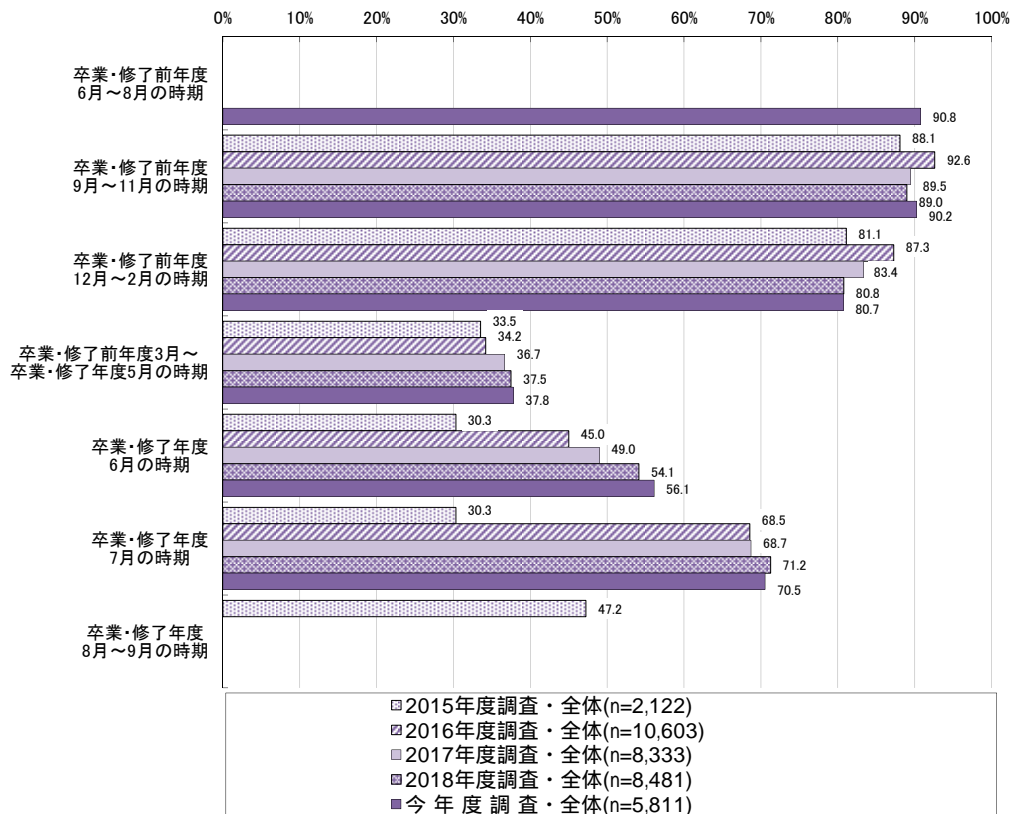


#### (大学院2年生)

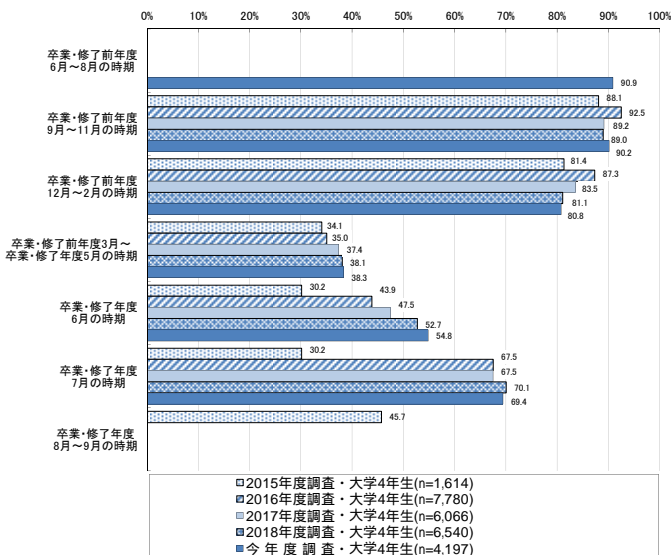


<sup>18</sup> 「卒業・修了前年度6月～8月の時期」に関する項目は、2015年度調査～2018年度調査では設定していない。

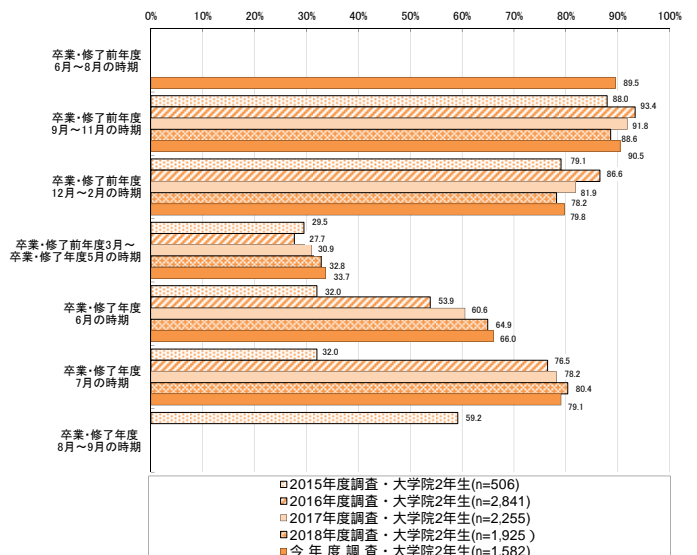
図表 2-3-2 就職活動と学修時間確保の状況（2015年度調査～2018年度調査との比較）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



※「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

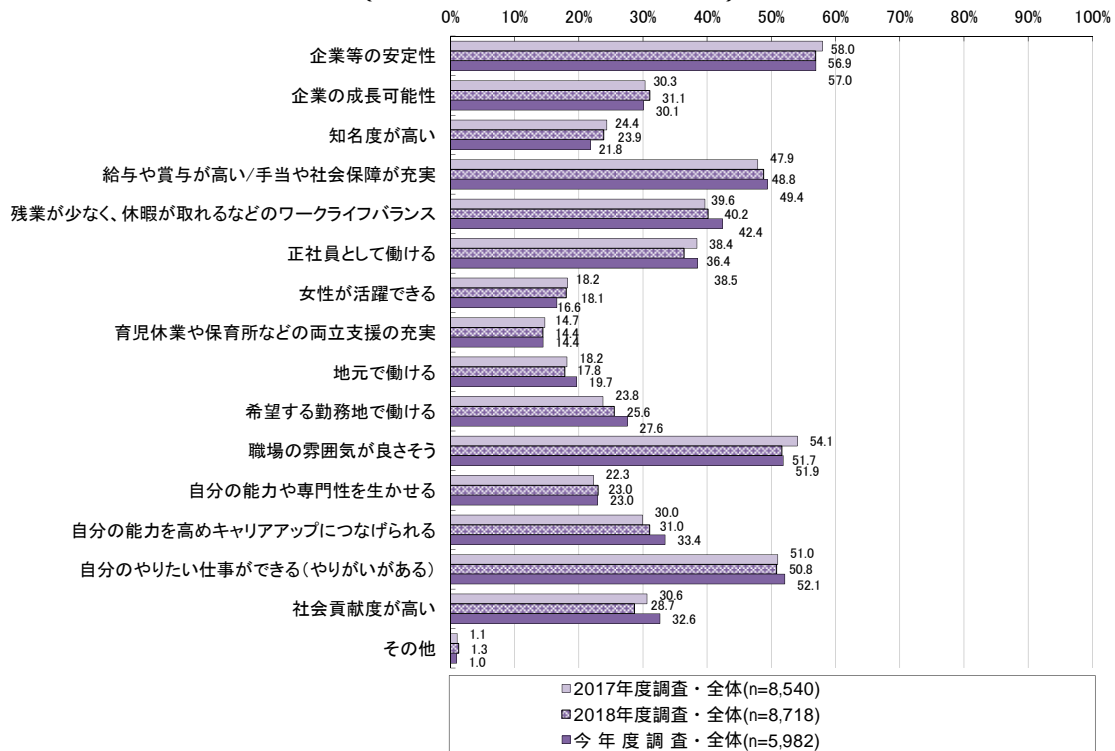
※卒業・修了年度の「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月～7月の時期」として調査を実施（図表にはそれぞれ同じ値を掲載）

#### (4) 就職先を決めるにあたって重視していること

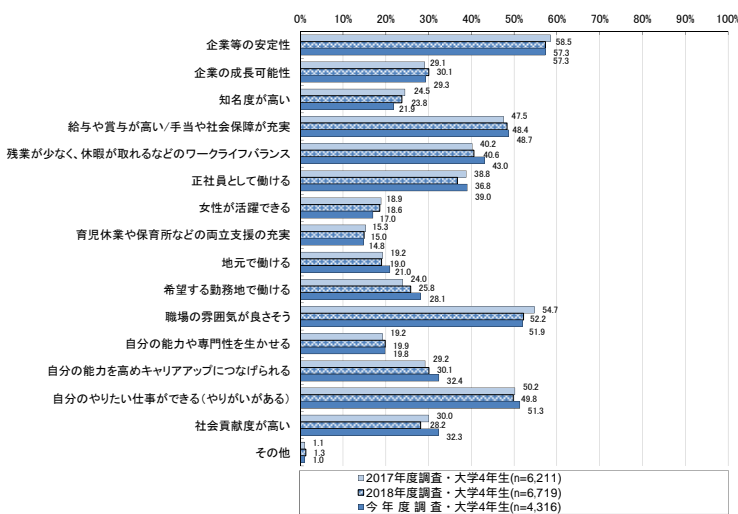
就職先を決めるにあたって重視していることについて<sup>19</sup>、「企業等の安定性」との回答が約6割と最も高く、次いで「自分のやりたい仕事ができる(やりがいがある)」、「職場の雰囲気が良さそう」との割合が高くなっている。

2017年度調査・2018年度調査と比較すると、概ね同様の回答結果となっている<sup>20</sup>。

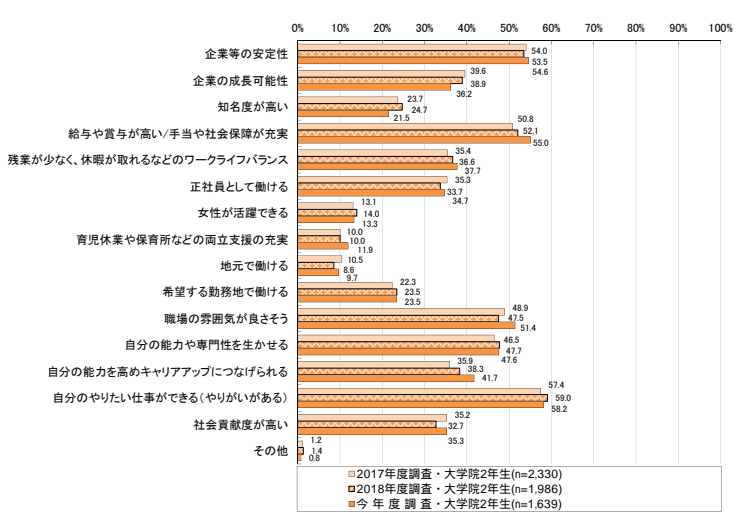
図表 2-4-1 就職先を決めるにあたって重視していること(複数回答)  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>19</sup> 「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は集計の対象外とした。

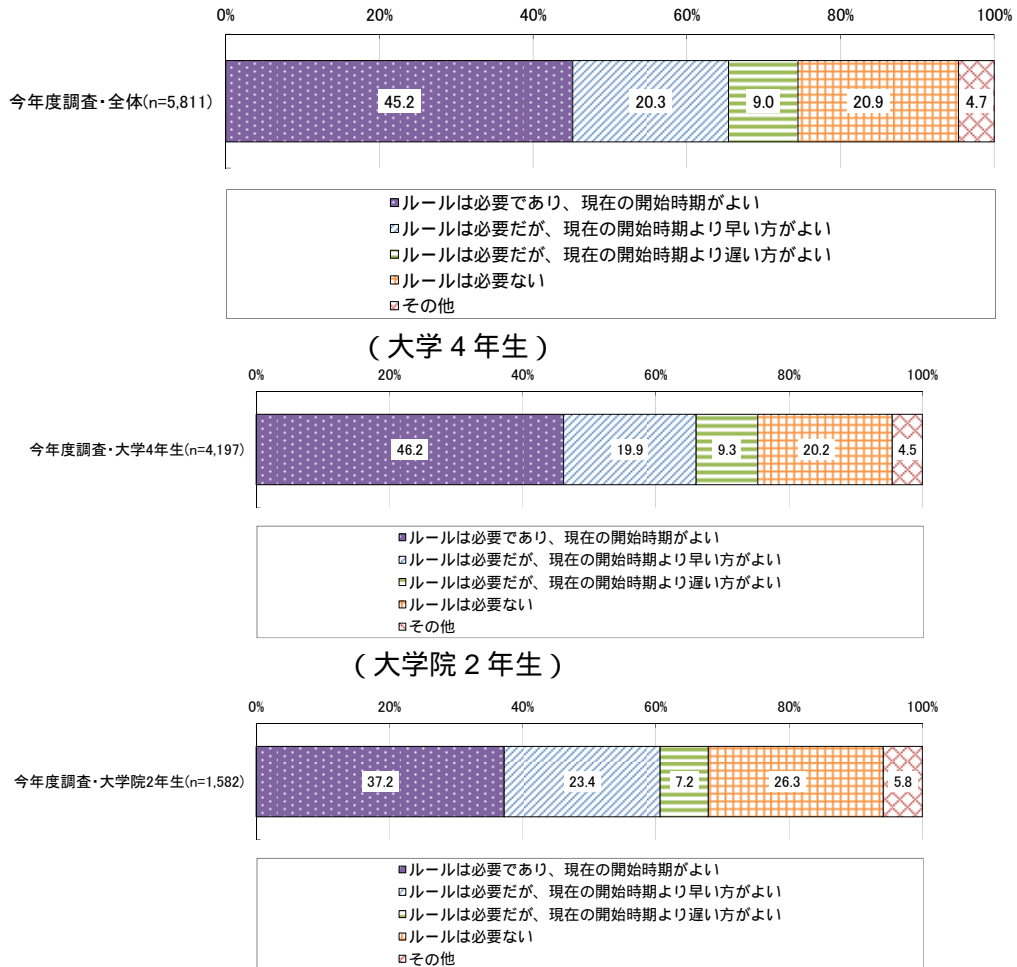
<sup>20</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (5) 就職活動に関する考え

### 就活ルールに関する考え

就職・採用活動開始時期、いわゆる「就活ルール」(広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降)に関する考えについて、「ルールが必要」との割合は約7割となっている。そのうち、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」との割合が最も高く、全体の約5割となっている<sup>21</sup>。

図表 2-5-1 就職活動時期・ルールに関する考え  
(大学4年生・大学院2年生)



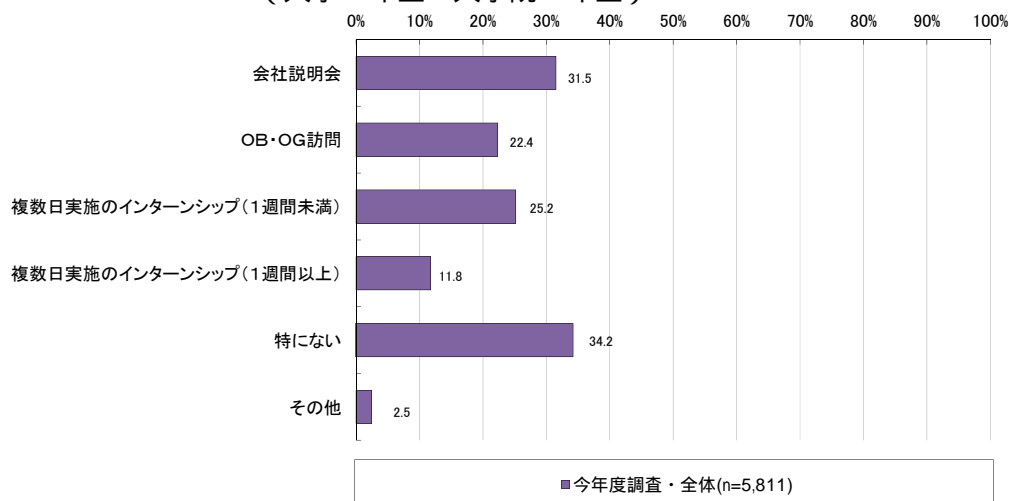
<sup>21</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。



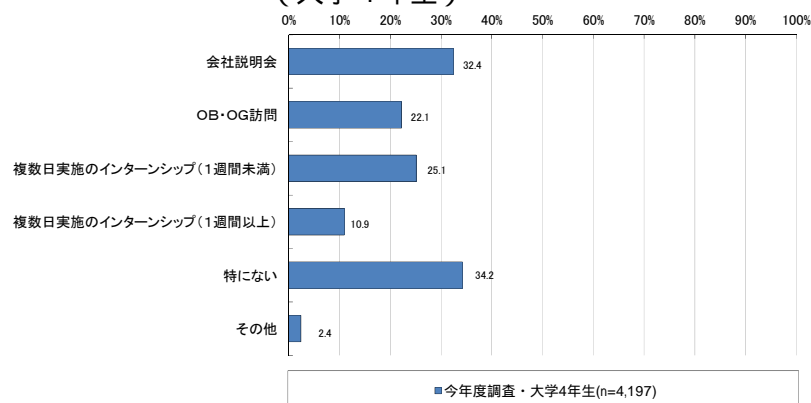
## 企業により多く取り組んでもらいたいと考えること

現状と比べて企業により多く取り組んでもらいたいと考えることについて、「特にない」との回答が約3割と最も高く、次いで「会社説明会」、「複数日実施のインターンシップ（1週間未満）」の順で回答割合が高くなっている<sup>22</sup>。

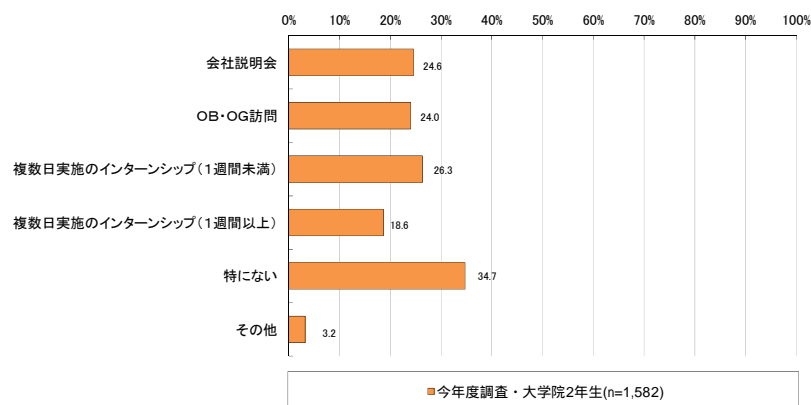
図表 2-5-2 企業により多く取り組んでもらいたいと考えること（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



### （大学4年生）



### （大学院2年生）



<sup>22</sup> 2015年度調査～2018年度調査では当該設問について調査を実施していない。